

●日本及びその周辺での主な地震活動

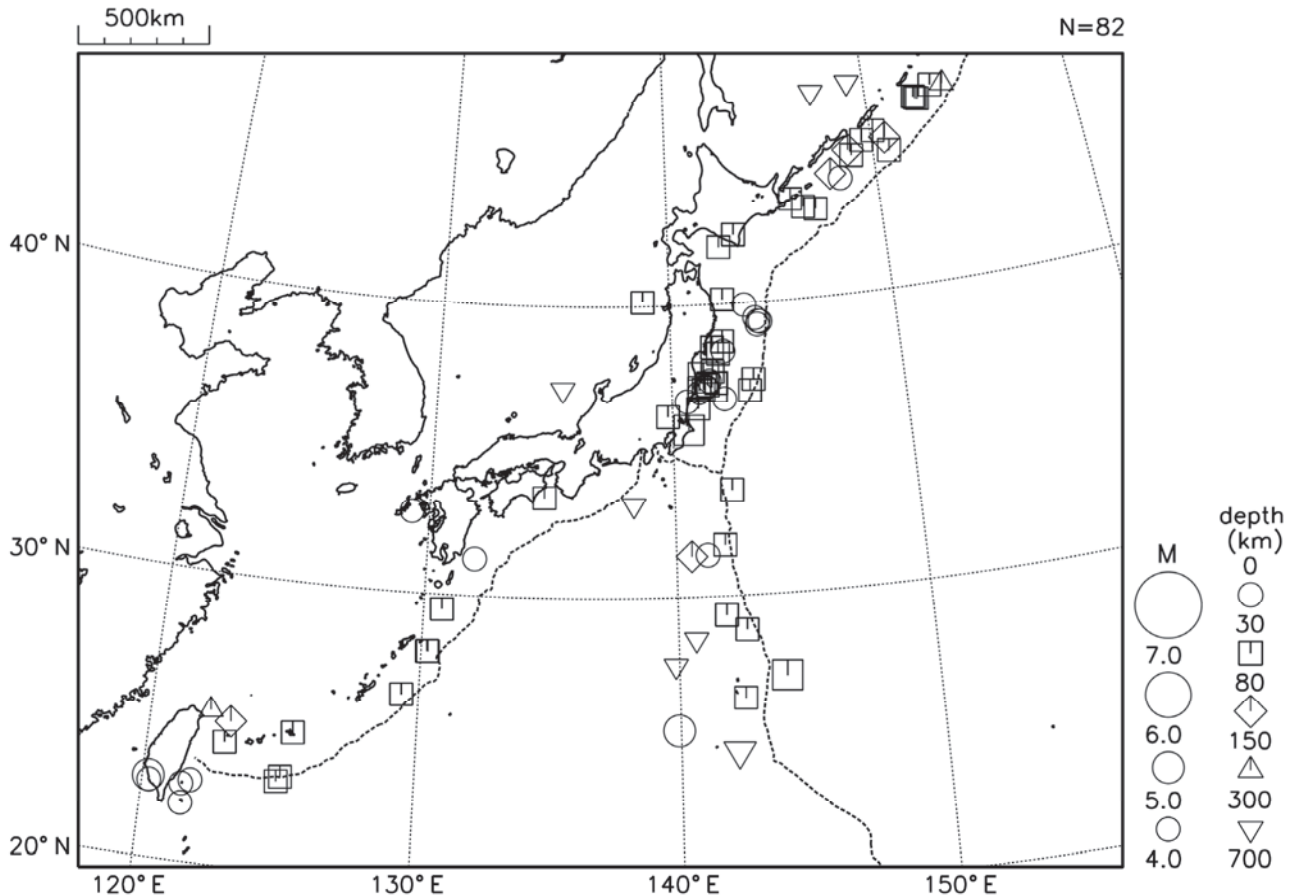


図 1 平成 29 年 2 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

2月28日16時49分に福島県沖の深さ52kmでM5.7の地震が発生した。この地震により、宮城県、福島県で震度5弱を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度4～1を観測した。

平成29年（2017年）2月に日本国内で震度4以上を観測した地震の回数は3回（1月は4回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は82回（1月は76回）であった。

2月中に発生した主な地震を表1（次ページ）に示す。2月中に震度5弱以上を観測した地震は1回、津波を観測した地震はなかった（1月は震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動は、全体として引き続き減衰傾向がみられる。今回の一連の地震活動により、死者207人、負傷者2,728人、住家全壊8,425棟などの被害が発生した（平成29年2月27日現在、総務省消防庁による）。

表 1 平成 29 年 2 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M (注 3)	Mw (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等（注 5）	掲載 ページ
1	4/14～					「平成 28 年（2016 年）熊本地震」 震度 1 以上を観測する地震が 18 回（震度 3：1 回、震度 2：4 回、震度 1：13 回）発生した。 被害：死者 207 人、負傷者 2,728 人、住家全壊 8,425 棟など （平成 29 年 2 月 27 日現在）	4、 17～18
2	12/28～	茨城県北部				震度 1 以上を観測する地震が 16 回（震度 3：1 回、震度 2：7 回、震度 1：8 回）発生した。 被害：軽傷 2 人、住家一部破損 5 棟など （平成 29 年 1 月 5 日現在）	4、13
3	2 11 6 5	福島県沖	5.4	5.2	・ ・ ・ ・	3：宮城県 仙台青葉区作並* 福島県 白河市新白河* など 4 県 39 地点	4、9
4	2 19 18 19	千葉県北東部 （注 6）	5.4	5.4	・ ・ S ・	4：千葉県 旭市南堀之内* など 2 県 22 地点	4、14
5	2 27 0 3	福島県沖	4.9	4.8	・ ・ S ・	4：福島県 川内村上川内早渡* など 1 県 3 地点	5、10
6	2 27 18 10	日高地方東部 （注 7）	4.7	4.7	・ ・ ・ ・	3：北海道 幕別町忠類錦町* 浦幌町桜町* など 1 道 4 地点	5、7
7	2 28 16 49	福島県沖	5.7	5.7	・ ・ S ・	5 弱：福島県 檜葉町北田* 双葉町両竹* 南相馬市原町区高見町* など 2 県 5 地点	5、11

（注 1）主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

（注 2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注 3）Mw 欄の「-」は Mw が求められていないことを示す。また、空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない。

（注 4）M H S T の各項目について、M：M6.0 以上の地震、H：被害を伴った地震、S：震度 4 以上を観測した地震、T：津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注 5）最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

（注 6）情報発表に用いた震央地名は「千葉県東方沖」である。

（注 7）情報発表に用いた震央地名は「十勝地方南部」である。

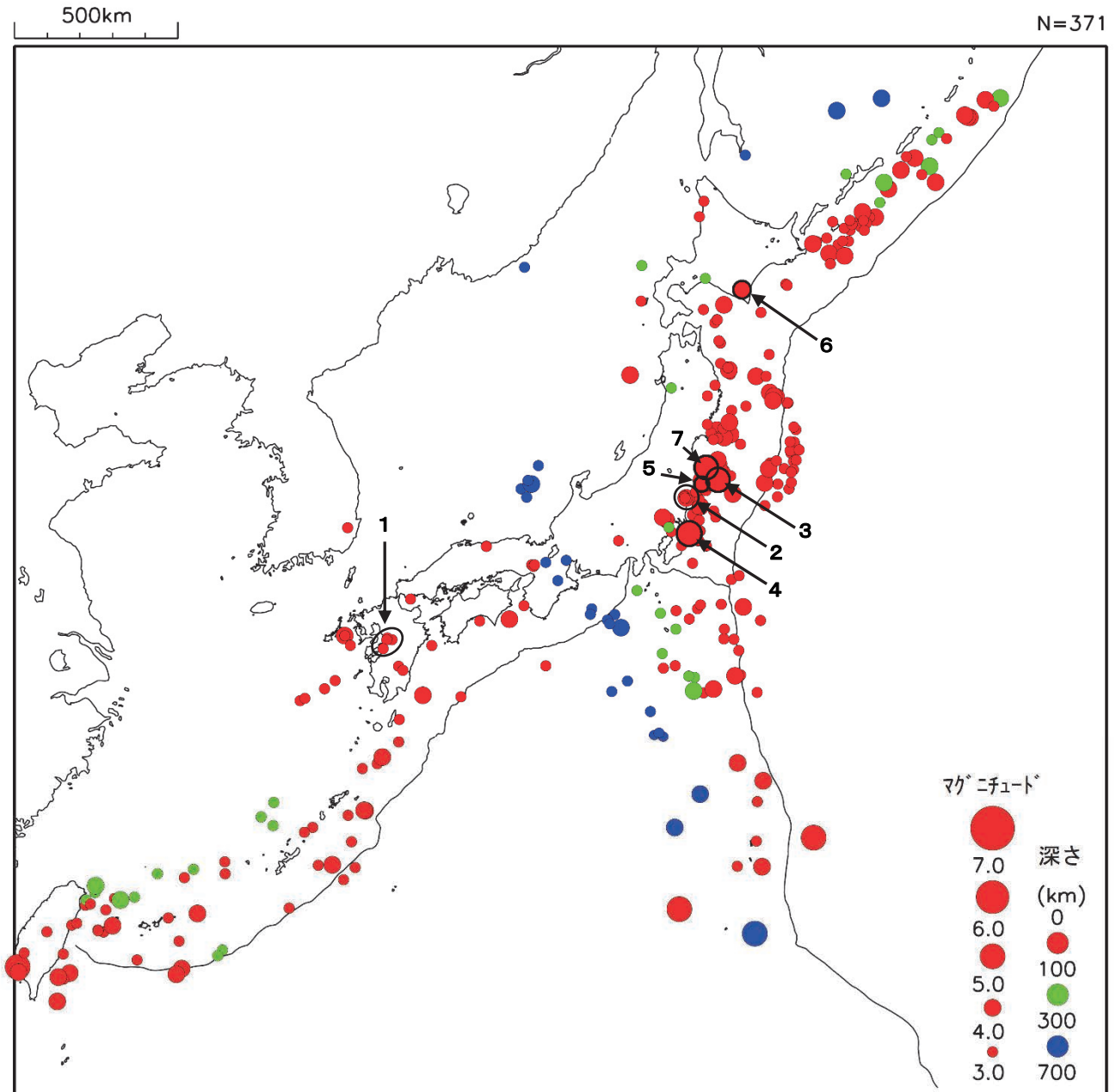


図 2 平成 29 年 2 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応)